

Microsoft Excel
試験問題解答方法
2026年4月

情報処理技能検定試験

表計算 模擬問題集

1・準1 級編



日本情報処理検定協会

情報処理技能検定試験（表計算）についての注意事項や作成手順などを紹介します。ここで紹介する手順は、Microsoft Excel2024 を基に説明しています。※画面表示等は、バージョンにより異なる場合があります。

練習を始める前に

問題の構成

情報処理技能検定試験（表計算）1級練習問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを作成し、印刷しない。表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しない。（表の形式は問わない）
- データ保存またはすべての表の敷紙印刷をしない。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	区分	前期数量	後期数量
101X	11	494	566
202Z	21	400	356
303Y	32	500	450
404X	15	650	489
101X	31	345	486
202Z	26	541	489
303Y	11	760	688
404X	15	618	754
101X	28	800	700
202Z	29	543	362
303Y	35	372	468
404X	38	486	653
101X	33	612	536
202Z	22	729	689
303Y	15	851	710
404X	24	597	612

<商品テーブル>

CO	商品	定価	手数料率
101X	A	1,240	7.3%
202Z	B	980	6.9%
303Y	C	1,130	6.5%
404X	D	780	6.1%

<乗率テーブル>

等級	区分		
	～15	16～30	31～
X	1.7%	2.0%	3.5%
Y	1.5%	2.4%	3.3%
Z	1.3%	2.2%	3.1%

<処理条件>

- <出力形式1>のような販売手数料一覧表を作成しない。（――の部分空白とする）
- 商品名は<商品テーブル>の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しない。（例 A商品）
- 等級は、COの右から1文字目とし、関数を使用し求めない。
- 売価=定価×0.93（整数未満切り捨て） ※定価は<商品テーブル>を参照する。
増減絶対値=前期数量-後期数量 または 増減絶対値=後期数量-前期数量
売上額=売価×（前期数量+後期数量）
- 手数料率は<商品テーブル>を表検索しない。（%の小数第1位までの表示とする）
- 手数料=売上額×手数料率（整数未満切り上げ）
- 乗率は<乗率テーブル>を参照し、求めない。（%の小数第1位までの表示とする）
報奨金=売上額×乗率（10位未満切り捨て）
- 合計を求めない。
- <出力形式1>と同じ形式で、後期数量が600以下で手数料が60,000以上を抽出しない。表題は“販売手数料一覧表（後期数量600以下・手数料60,000円以上）”とし、売上額の降順にソートしない。
- 販売手数料一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしない。
- 販売手数料一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしない。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
- 算線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
- <出力形式2>の手数料・報奨金を商品名別の積み上げ縦棒グラフにしない。タイトルは“手数料・報奨金の比較”とし、凡例は“手数料” “報奨金”とする

<出力形式1>

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金
（途中省略）												
――	合計	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――

<出力形式2>

商品名	売上額	手数料	報奨金
A商品			
B商品			
C商品			
D商品			

<出力形式3>

後期数量が500より多く700より少ない売上額の平均 手数料が60,000円以上で報奨金が25,000円未満の件数 等級がYまたはZの手数料の合計

■<問題>

表を作成するにあたっての前提（項目の配置や表示形式の設定など）と試験時間について記載されています。

■<入力データ>

本問題で使用するデータが記載されています。<入力データ>は問題ごとに異なります。

■<商品テーブル>・<乗率テーブル>

本問題の処理条件の中で使用するテーブルや式、詳細の判定条件などが記載されています。これらのテーブルは、問題ごとに異なります。

■<処理条件>

表を作成する際に設定する計算式などの処理が記載されています。<処理条件>は問題ごとに異なります。

■<出力形式>

本問題で作成する表の形式が記載されています。

<処理条件>の中に、どの出力形式で作成するかの指示があるので、指示に従い作成します。

最終的にこの形式の表を作成し、答案として提出します。

作成する表の形式や数は問題によって異なります。

試験前にすること

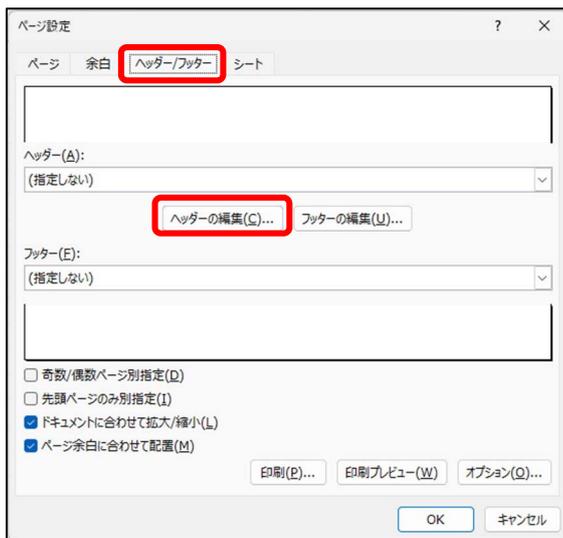
受験番号・名前の入力

ヘッダーに入力して問題を解きます。

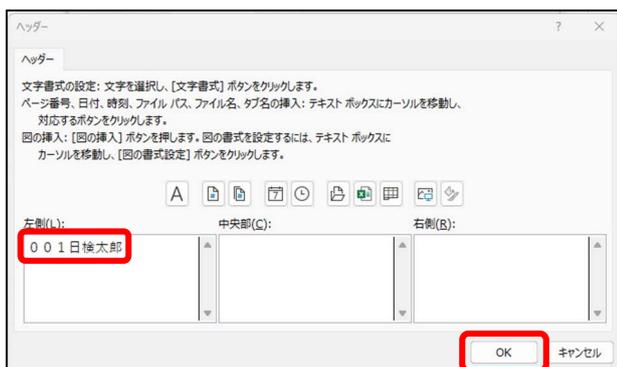
(1) [ページレイアウト] タブ-[ページ設定] グループの  をクリックします。



(2) [ヘッダー/フッター] タブを選択し、[ヘッダーの編集] をクリックします。



(3) 左側に「受験番号・名前」を入力して[OK]をクリックします。



検定のポイント

受験番号は試験日当日までに発表されます。

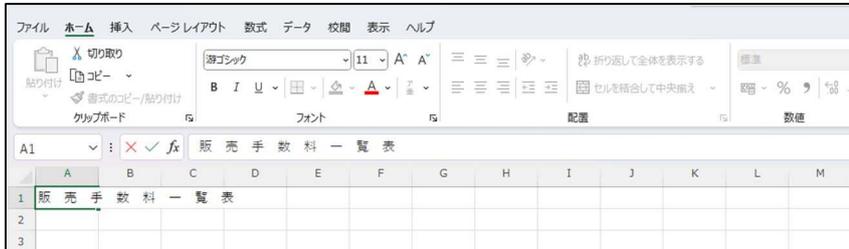
1 級練習問題解答方法

問題文を基に処理条件に従って1級の解答をします。

表題・見出し・入力データの入力

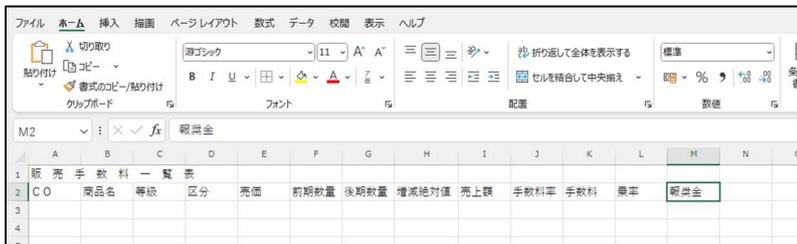
1. <出力形式1>のような販売手数料一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)

(1) A1セルに「販売手数料一覧表」と入力し、「C0」から順に右へ「報奨金」までの見出しを入力します。



検定のポイント

表題や見出し、名前などの文字間隔は<出力形式>のとおりでなくても減点にはなりません。



(2) 見出しの下に入力データをすべて入力します。

The screenshot shows the Excel interface with the input data for the sales commission table. The data is entered in cells G2 to G18. The formula bar shows the text '612'.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	販売手数料一覧表												
2	C0	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金
3					11		694	566					
4		202Z			21		400	356					
5		303Y			32		500	450					
6		404X			15		650	489					
7		101X			31		345	486					
8		202Z			26		541	489					
9		303Y			11		760	668					
10		404X			15		618	754					
11		101X			28		800	700					
12		202Z			29		543	362					
13		303Y			35		372	468					
14		404X			38		486	658					
15		101X			33		612	536					
16		202Z			22		729	689					
17		303Y			15		851	710					
18		404X			24		597	612					
19													

検定のポイント

<出力形式>の項目位置と<入力データ>の項目数・位置は違う場合が多いので、間違った位置に入力しないように注意してください。

「商品名」項目の処理

2. 商品名は<商品テーブル>の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しなさい。
(例 A商品)

複数の文字列(別々のセルにあるデータや文字列など)を結合して1つの文字列にします。
文字列の結合には“&”演算子を使用します。

=VLOOKUP(A3, \$O\$4:\$R\$7, 2, 0)&"商品"

- ※「VLOOKUP(A3, \$O\$4:\$R\$7, 2, 0)」は<商品テーブル>の「商品」を表検索する関数
- ※「&」は半角で入力します
- ※「商品」は文字列なので「"」で囲みます

- (1) <商品テーブル>を参照し、O2セルからテーブルを作成します。

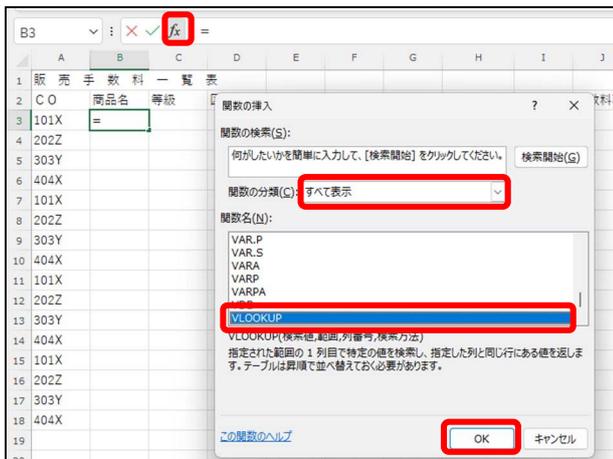
	O	P	Q	R
1				
2	<商品テーブル>			
3	C O	商品	定価	手数料率
4	101X	A	1,240	7.3%
5	202Z	B	980	6.9%
6	303Y	C	1,130	6.5%
7	404X	D	780	6.1%
8				

検定のポイント

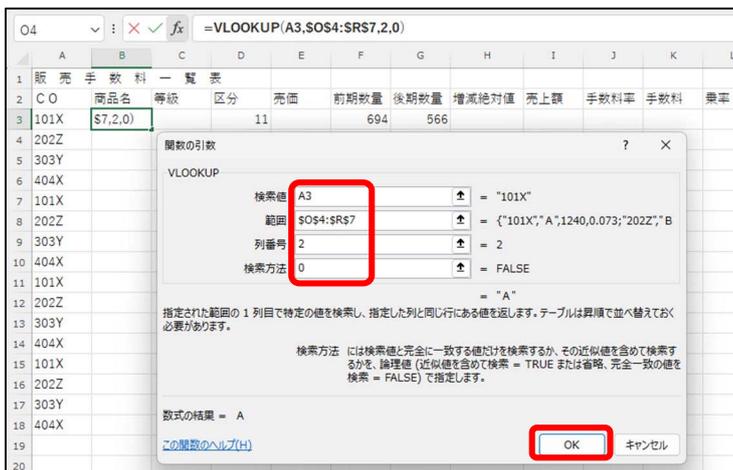
- ※表検索するテーブルの作成位置は問いません。
- ※完全一致の場合、検索箇所の数値を昇順に
しなくても構いません。
- ※表検索するテーブルの表題、見出しや罫線
がなくても減点にはなりません。

	O	P	Q	R
1				
2				
3				
4	101X	A	1,240	7.3%
5	202Z	B	980	6.9%
6	303Y	C	1,130	6.5%
7	404X	D	780	6.1%

- (2) 数式バーの  [関数の挿入] をクリックし、[関数の挿入]ダイアログボックスで、[関数の分類]を[すべて表示]にして[VLOOKUP]を選択し、[OK]をクリックします。



- (3) [検索値]に「A3」、[範囲]に「\$O\$4:\$R\$7」と設定して、[列番号]に「2」、[検索方法]に「0」と入力し[OK]をクリックします。



(4) 数式バーのVLOOKUP関数の後ろに「&"商品"」と入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	販売手数料一覧表							
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値
3	101X	=VLOOKUP(A3,\$O\$4:\$R\$7,2,0)&"商品"				694	566	
4	202Z			21		400	356	
5	303Y			32		500	450	
6	404X			15		650	489	
7	101X			31		345	486	
8	202Z			26		541	489	

(5) 結果が表示されていることを確認し、B18セルまでコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	販売手数料一覧表							
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値
3	101X	A商品		11		694	566	
4	202Z			21		400	356	
5	303Y			32		500	450	
6	404X			15		650	489	
7	101X			31		345	486	
8	202Z			26		541	489	
9	303Y	C商品		11		760	668	
10	404X	D商品		15		618	754	
11	101X	A商品		28		800	700	
12	202Z	B商品		29		543	362	
13	303Y	C商品		35		372	468	
14	404X	D商品		38		486	658	
15	101X	A商品		33		612	536	
16	202Z	B商品		22		729	689	
17	303Y	C商品		15		851	710	
18	404X	D商品		24		597	612	
19								

検定のポイント

CONCATENATE 関数を使用しても文字列を結合できます。

<CONCATENATE 関数>

=CONCATENATE(文字列1, 文字列2)

関数の引数

CONCATENATE

文字列1: VLOOKUP(A3,\$O\$4:\$R\$7,2,0) = "A"

文字列2: "商品" = "商品"

文字列3: = 文字列

文字列4: = 文字列

= "A商品"

複数の文字列を結合して1つの文字列にまとめます。

文字列3: 文字列1,文字列2,... には1つにまとめる1~255個までの文字列を指定できます。引数には文字列、数値、または単一セルの参照を指定します。

数式の結果 = A商品

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

この処理の場合

=CONCATENATE(VLOOKUP(A3,\$O\$4:\$R\$7,2,0),"商品")

※文字列2の「商品」は文字列なので「"」で囲みます

[文字列1]に「VLOOKUP(A3,\$O\$4:\$R\$7,2,0)」を挿入し、
[文字列2]に「"商品"」と入力します。

「等級」項目の処理

3. 等級は、C Oの右から1文字目とし、関数を使用し求めなさい。

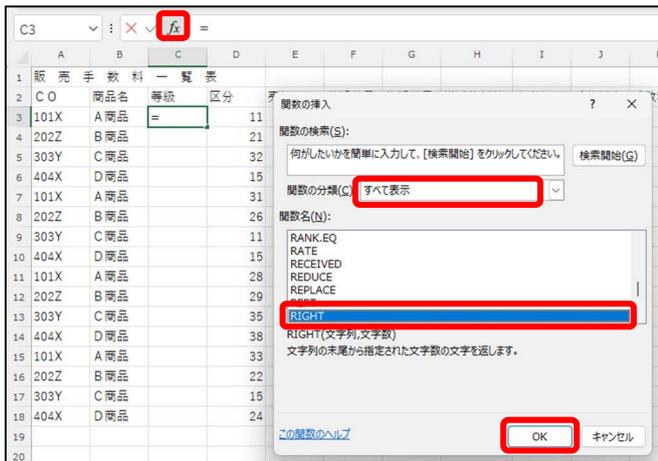
文字列の右端（末尾）から、指定した数の文字を求める場合、RIGHT関数を使用します。
 <RIGHT関数>

=RIGHT(文字列, 文字数) ※[文字列]にはセル番地を設定できます。

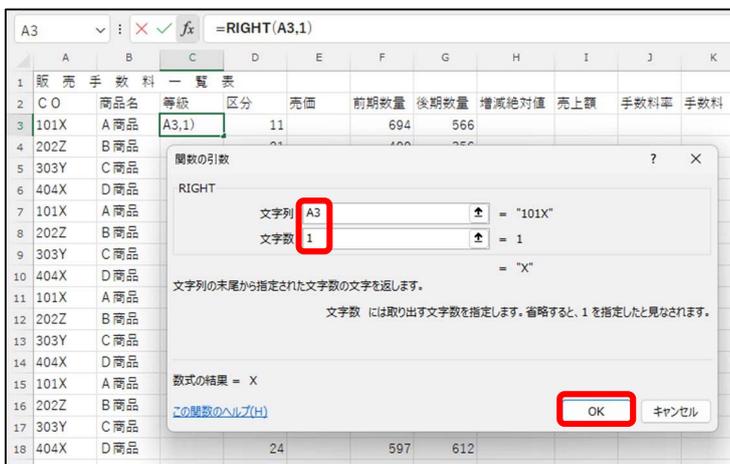
この処理条件の場合は、

=RIGHT(A3, 1) ※「A3」セルは「CO」

(1) 数式バーの  [関数の挿入] をクリックし、[関数の挿入]ダイアログボックスで、[関数の分類]を[すべて表示]にして[RIGHT]を選択し、[OK]をクリックします。

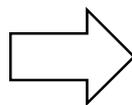


(2) [文字列]にA3セル（「CO」）をクリックし、[文字数]に「1」と入力して[OK]をクリックします。



(3) 結果が表示されていることを確認し、C18セルまでコピーします。

1	販売手数料一覧表						
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量
3	101X	A商品	X		11	694	566
4	202Z	B商品	Z		21	400	356
5	303Y	C商品	Y		32	500	450



1	販売手数料一覧表						
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量
3	101X	A商品	X		11	694	566
4	202Z	B商品	Z		21	400	356
5	303Y	C商品	Y		32	500	450
6	404X	D商品	X		15	650	489
7	101X	A商品	X		31	345	486
8	202Z	B商品	Z		26	541	489
9	303Y	C商品	Y		11	760	668
10	404X	D商品	X		15	618	754
11	101X	A商品	X		28	800	700
12	202Z	B商品	Z		29	543	362
13	303Y	C商品	Y		35	372	468
14	404X	D商品	X		38	486	658
15	101X	A商品	X		33	612	536
16	202Z	B商品	Z		22	729	689
17	303Y	C商品	Y		15	851	710
18	404X	D商品	X		24	597	612

検定のポイント

LEFT関数

文字列の左端（先頭）から、指定した数の文字を求める場合、LEFT関数を使用します。

LEFT関数・・・ **=LEFT(文字列, 文字数)**

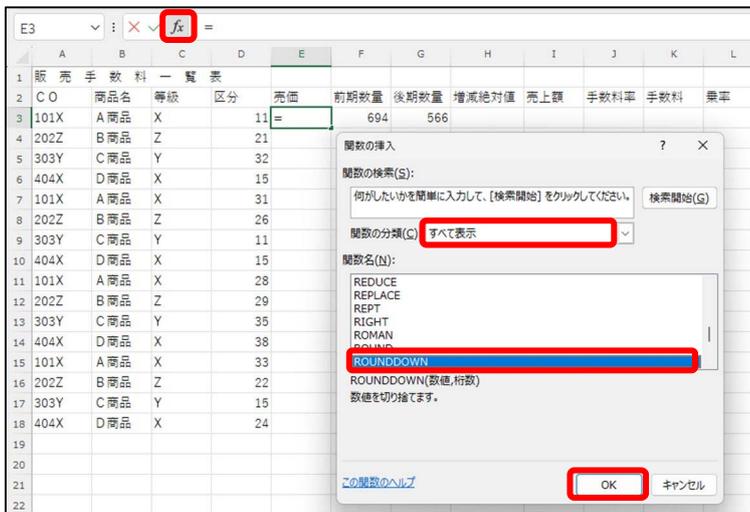
「売価」項目の処理

4. 売価 = 定価 × 0.93（整数未満切り捨て） ※定価は<商品テーブル>を参照する。

=ROUNDDOWN(VLOOKUP(A3, \$O\$4:\$R\$7, 3, 0) * 0.93, 0)

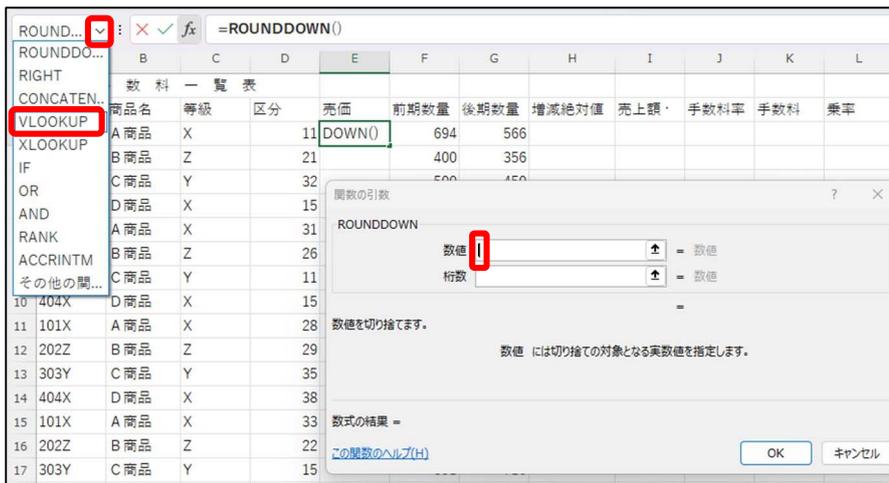
※「VLOOKUP(A3, \$O\$4:\$R\$7, 3, 0)」は<商品テーブル>の「定価」を表検索する関数

(1) 数式バーの  [関数の挿入] をクリックします。[ROUNDDOWN] を選択して[OK] をクリックします。



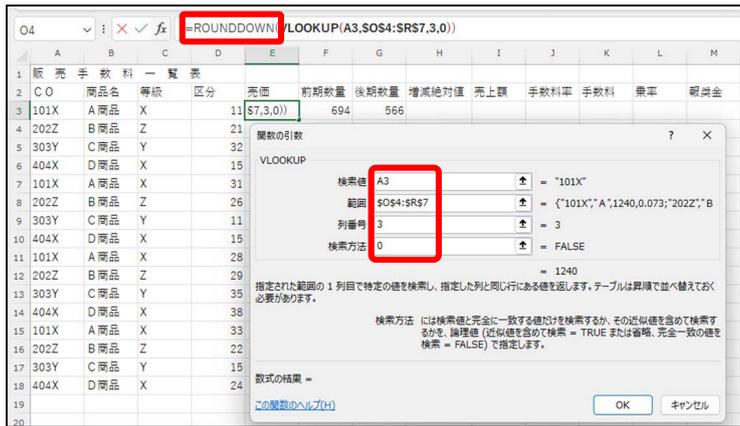
The screenshot shows the Excel interface with the 'Insert Function' dialog box open. The 'Function category' is set to 'すべて表示' (Show all). The 'Function name' list includes 'ROUNDDOWN', which is highlighted in blue. The 'OK' button is also highlighted in red.

(2) [数値] にカーソルがある状態で [名前ボックス] から [VLOOKUP] を選択します。

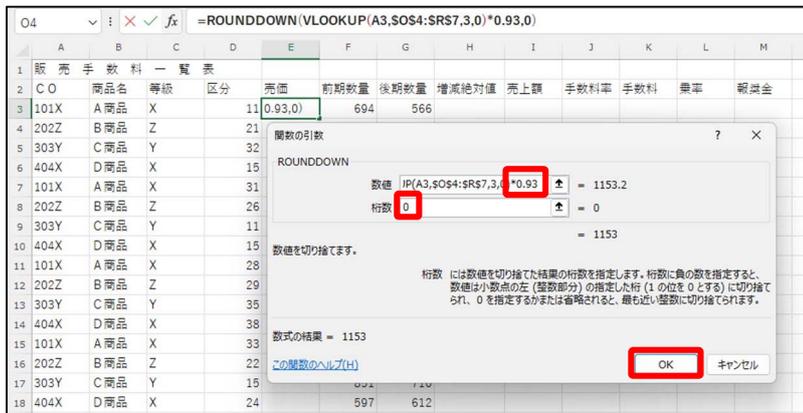


The screenshot shows the Excel interface with the 'Round Down' dialog box open. The 'Number of digits' field is highlighted in red. The 'OK' button is also highlighted in red.

(3) VLOOKUP関数の設定を行い、数式バーにある「ROUNDDOWN」の文字をクリックし、ROUNDDOWN関数のダイアログボックスに戻ります。



(4) [数値]の関数の後ろに「*0.93」と入力し、[桁数]に「0」と入力して[OK]をクリックします。



(5) 結果が表示されていることを確認し、E18セルまでコピーします。

販売手数料一覧表	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額
101X	A商品	X	11	1153	694	566		
202Z	B商品	Z	21	400	400	356		
303Y	C商品	Y	32	500	500	450		
404X	D商品	X	15	650	489			
101X	A商品	X	31	345	486			



販売手数料一覧表	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額
101X	A商品	X	11	1153	694	566		
202Z	B商品	Z	21	911	400	356		
303Y	C商品	Y	32	1050	500	450		
404X	D商品	X	15	725	650	489		
101X	A商品	X	31	1153	345	486		
202Z	B商品	Z	26	911	541	489		
303Y	C商品	Y	11	1050	760	668		
404X	D商品	X	15	725	618	754		
101X	A商品	X	28	1153	800	700		
202Z	B商品	Z	29	911	543	362		
303Y	C商品	Y	35	1050	372	468		
404X	D商品	X	38	725	486	658		
101X	A商品	X	33	1153	612	536		
202Z	B商品	Z	22	911	729	689		
303Y	C商品	Y	15	1050	851	710		
404X	D商品	X	24	725	597	612		

検定のポイント

その他のROUND系関数

ROUND関数 (四捨五入)

=ROUND(数値, 桁数)

ROUNDUP関数 (切り上げ)

=ROUNDUP(数値, 桁数)

数値「98765.4321」を四捨五入・切り上げるとき
桁数はどの位で処理するか決める数字

<例> ROUND関数 (四捨五入)

(整数未満四捨五入・関数使用) 桁数に 0...98765

(小数第1位未満四捨五入) 桁数に 1...98765.4

(10位未満四捨五入) 桁数に-1...98770

<例> ROUNDUP関数 (切り上げ)

(整数未満切り上げ) 桁数に 0...98766

(小数第1位未満切り上げ) 桁数に 1...98765.5

(10位未満切り上げ) 桁数に-1...98770

桁数に 0...98766

桁数に 1...98765.5

桁数に-1...98770

「増減絶対値」項目の処理

4. 増減絶対値＝前期数量－後期数量 または 増減絶対値＝後期数量－前期数量

指定した数値の絶対値を求める場合、ABS関数を使用します。

<ABS関数>

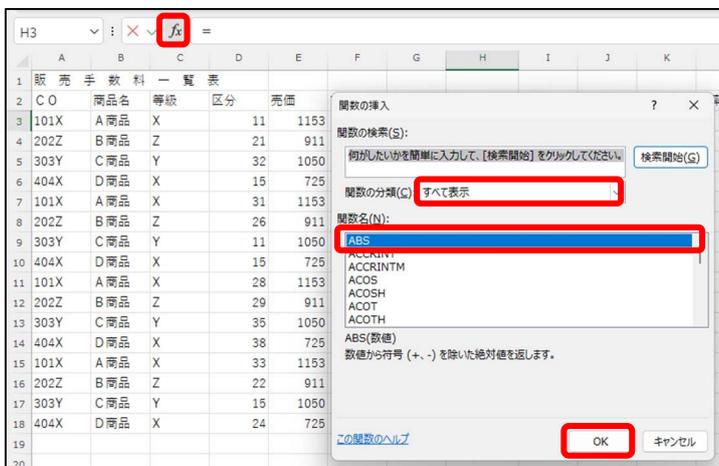
=ABS(数値)

この処理条件の場合は、

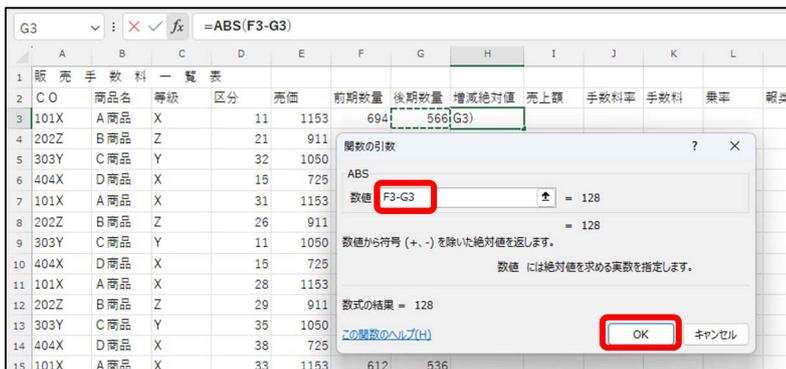
=ABS(F3-G3) または =ABS(G3-F3)

※「F3」セルは「前期数量」、「G3」セルは「後期数量」
※数値の式はどちらかの式を設定します。

(1) 数式バーの  [関数の挿入] をクリックします。[ABS]が選択されているのを確認し、[OK]をクリックします。



(2) [数値]に「F3-G3」と入力し、[OK]をクリックします。



(3) 結果が表示されていることを確認し、H18セルまでコピーします。

1	販売手数料一覧表								
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額
3	101X	A商品	X		11	1153	694	566	128
4	202Z	B商品	Z		21	911	400	356	
5	303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	
6	404X	D商品	X		15	725	650	489	



1	販売手数料一覧表								
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額
3	101X	A商品	X		11	1153	694	566	128
4	202Z	B商品	Z		21	911	400	356	44
5	303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50
6	404X	D商品	X		15	725	650	489	161
7	101X	A商品	X		31	1153	345	486	141
8	202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52
9	303Y	C商品	Y		11	1050	760	668	92
10	404X	D商品	X		15	725	618	754	136
11	101X	A商品	X		28	1153	800	700	100
12	202Z	B商品	Z		29	911	543	362	181
13	303Y	C商品	Y		35	1050	372	468	96
14	404X	D商品	X		38	725	486	658	172
15	101X	A商品	X		33	1153	612	536	76
16	202Z	B商品	Z		22	911	729	689	40
17	303Y	C商品	Y		15	1050	851	710	141
18	404X	D商品	X		24	725	597	612	15

「売上額」項目の処理

4. 売上額＝売価×(前期数量+後期数量)

(1) I3セルに計算式「=E3*(F3+G3)」と入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	販売手数料一覧表									
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率
3	101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	=E3*(F3+G3)
4	202Z	B商品	Z		21	911	400	356	44	
5	303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	
6	404X	D商品	X		15	725	650	489	161	
7	101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	
8	202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	

(2) 結果が表示されていることを確認し、I18セルまでコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	販売手数料一覧表									
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率
3	101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780
4	202Z	B商品	Z		21	911	400	356	44	688716
5	303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	997500
6	404X	D商品	X		15	725	650	489	161	825775
7	101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	958143
8	202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	938330
9	303Y	C商品	Y		11	1050	760	668	92	1499400
10	404X	D商品	X		15	725	618	754	136	994700
11	101X	A商品	X		28	1153	800	700	100	1729500
12	202Z	B商品	Z		29	911	543	362	181	824455
13	303Y	C商品	Y		35	1050	372	468	96	882000
14	404X	D商品	X		38	725	486	658	172	829400
15	101X	A商品	X		33	1153	612	536	76	1323644
16	202Z	B商品	Z		22	911	729	689	40	1291798
17	303Y	C商品	Y		15	1050	851	710	141	1639050
18	404X	D商品	X		24	725	597	612	15	876525

「手数料率」項目の処理

5. 手数料率は<商品テーブル>を表検索しなさい。(％の小数第1位までの表示とする)

(1) VLOOKUP関数のダイアログボックスを使用して設定を行います。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	
1	販売手数料一覧表																		
2	CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	费率	販売金						
3	101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780	\$7,4,0								
4	202Z	B商品	Z		21														
5	303Y	C商品	Y		32														
6	404X	D商品	X		15														
7	101X	A商品	X		31														
8	202Z	B商品	Z		26														
9	303Y	C商品	Y		11														
10	404X	D商品	X		15														
11	101X	A商品	X		28														
12	202Z	B商品	Z		29														
13	303Y	C商品	Y		35														
14	404X	D商品	X		38														
15	101X	A商品	X		33														
16	202Z	B商品	Z		22														
17	303Y	C商品	Y		15														
18	404X	D商品	X		24														

関数の引数	?	X
VLOOKUP		
検索値	A3	= "101X"
範囲	\$O\$4:\$R\$7	= {"101X";"A";1240,0.073;"202Z";"B"
列番号	4	= 4
検索方法	0	= FALSE
		= 0.073
指定された範囲の1列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。		
検索方法 には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を検索 = FALSE) で指定します。		
数式の結果 =	0.073	
この関数のヘルプ(H)		
		OK
		キャンセル

(2) J18セルまでコピーします。

The screenshot shows two Excel windows. The left window shows the formula bar with `=VLOOKUP(A3,O4:R7,4,0)` and cell J3 containing the value 0.073. The right window shows the same formula copied down to cell J18, which now contains the value 0.061. An arrow points from the first window to the second, indicating the copy operation.

(3) J3セルからJ18セルまで選択されている状態で、[ホーム]タブ-[数値]グループの[%]をクリックし、 $\leftarrow 0.00$ を1回クリックして「%の小数第1位までの表示」にします。

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Home' tab selected. In the 'Number' group, the percentage symbol (%) is highlighted with a red box. The dropdown menu next to it is open, and the '0.00' option is selected with a red box. Below the ribbon, the spreadsheet shows the '手数料率' (Fee Rate) column with values rounded to one decimal place (e.g., 7.3%, 6.9%).

「手数料」項目の処理

6. 手数料=売上額×手数料率（整数未満切り上げ）

(1) ROUNDUP関数のダイアログボックスを使用して設定を行い、K18セルまでコピーします。

The screenshot shows the 'ROUNDUP' dialog box in Excel. The '数値' (Number) field contains the formula `I3*J3` and the '桁数' (Number of digits) field is set to 0. The '数式の結果' (Formula result) is displayed as 106053. The 'OK' button is highlighted with a red box. An arrow points from this dialog box to the right, where the spreadsheet shows the '手数料' (Fee) column with values rounded up to integers (e.g., 106053, 47522).

「乗率」項目の処理

7. 乗率は<乗率テーブル>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)

1級では、下位級で学んだ関数を応用した問題が出題されます。

ここでは、VLOOKUP関数の列番号が変動する場合の処理方法のひとつを学びます。

=VLOOKUP(C3, \$O\$12:\$R\$14, IF(D3<=15, 2, IF(D3<=30, 3, 4)), 0)

※「C3」セルは「等級」

※「O12」セルから「R14」セルは別で作成した項目名を含めない<乗率テーブル>

※「IF(D3<=15, 2, IF(D3<=30, 3, 4))」は列番号を求める式

列番号の求め方

「区分」の値を使って列番号を導きます。

IF(D3<=15, 2, IF(D3<=30, 3, 4))

<乗率テーブル>		区分		
等級	~15	16~30	31~	
X	1.7%	2.6%	3.5%	
Y	1.5%	2.4%	3.3%	
Z	1.3%	2.2%	3.1%	

1列目 2列目 3列目 4列目

操作のポイント

「区分」が、
15以下の場合、「2」列目に、
30以下の場合、「3」列目に、
31以降は「4」列目になるよう
判断文(IF関数)で処理するように設定します。

(1)問題文の<乗率テーブル>を参照し、O9セルから作成します。

<商品テーブル>		<乗率テーブル>			
CO	商品	定価	手数料率	区分	
101X	A	1,240	7.3%		
202Z	B	980	6.9%		
303Y	C	1,130	6.5%		
404X	D	780	6.1%		

<乗率テーブル>		区分		
等級	~15	16~30	31~	
X	1.7%	2.6%	3.5%	
Y	1.5%	2.4%	3.3%	
Z	1.3%	2.2%	3.1%	

(2)[列番号]にカーソルがある状態で[名前ボックス]から[IF]を選択します。

The screenshot shows the Excel interface with the formula bar containing the VLOOKUP formula. The IF function is selected in the name box, and the VLOOKUP dialog box is open, showing the search criteria and the selected column number (4).

(3) [論理式]に「D3<=15」、[値が真の場合]に「2」、[値が偽の場合]にカーソルがある状態で再度[名前ボックス]から[IF]を選択します。

関数の引数

IF

論理式 D3<=15 = TRUE

値が真の場合 2 = 2

値が偽の場合 | = すべて

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

値が偽の場合には論理式の結果が偽であった場合に返される値を指定します。省略された場合、FALSE が返されます

数式の結果 = 0.017

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

(4) [論理式]に「D3<=30」、[値が真の場合]に「3」、[値が偽の場合]に「4」と入力して数式バーにある「VLOOKUP」の文字をクリックし、VLOOKUP関数のダイアログボックスに戻ります。

関数の引数

IF

論理式 D3<=30 = TRUE

値が真の場合 3 = 3

値が偽の場合 4 = 4

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

値が偽の場合には論理式の結果が偽であった場合に返される値を指定します。省略された場合、FALSE が返されます

数式の結果 = 0.017

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

(5) [検索方法]に「0」と入力し[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じたあと、L3の内容をL18セルまでコピーします。

関数の引数

VLOOKUP

検索値 C3 = "X"

範囲 \$O\$12:\$R\$14 = {"X",0.017,0.026,0.035;"Y",0.0...

列番号 IF(D3<=15,2,IF(D3<=30,3,4)) = 2

検索方法 0 = FALSE

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索方法 には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、検索 = FALSE) で指定します。

数式の結果 = 0.017

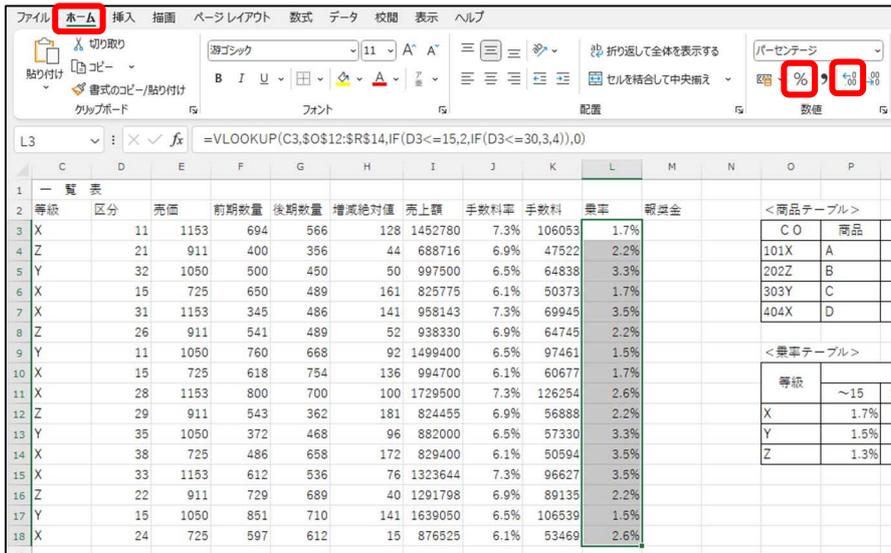
この関数のヘルプ(H)

OK

販売手数料一覧表

等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	費率	報奨金
X		11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	0.017
Z		21	911	400	396	44	888716	6.9%	47522	0.022
Y		32	1050	500	450	50	997500	6.5%	47522	0.033
X		15	725	650	489	161	825775	6.1%	64838	0.017
X		31	1153	345	486	141	955143	7.3%	69845	0.035
Z		26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	0.022
Y		11	1050	760	668	92	1499400	6.5%	97461	0.015
X		15	725	618	754	136	994700	6.1%	60677	0.017
X		28	1153	800	700	100	1729500	7.3%	126254	0.026
Z		29	911	543	362	181	824455	6.9%	96888	0.022
Y		35	1050	372	468	96	882000	6.5%	57330	0.033
X		38	725	486	658	172	829400	6.1%	50594	0.035
X		33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	0.035
Z		22	911	729	689	40	1291768	6.9%	89135	0.022
Y		15	1050	851	710	141	1639050	6.5%	106539	0.015
X		24	725	597	612	15	876525	6.1%	53469	0.026

(6) L3セルからL18セルまで選択されている状態で、[ホーム]タブ-[数値]グループの [%] をクリックし、 を1回クリックして「%の小数第1位までの表示」にします。



「報奨金」項目の処理

7. 報奨金 = 売上額 × 乗率 (10位未満切り捨て)

(1) ROUNDDOWN関数のダイアログボックスを使用して設定を行い、M18セルまでコピーします。

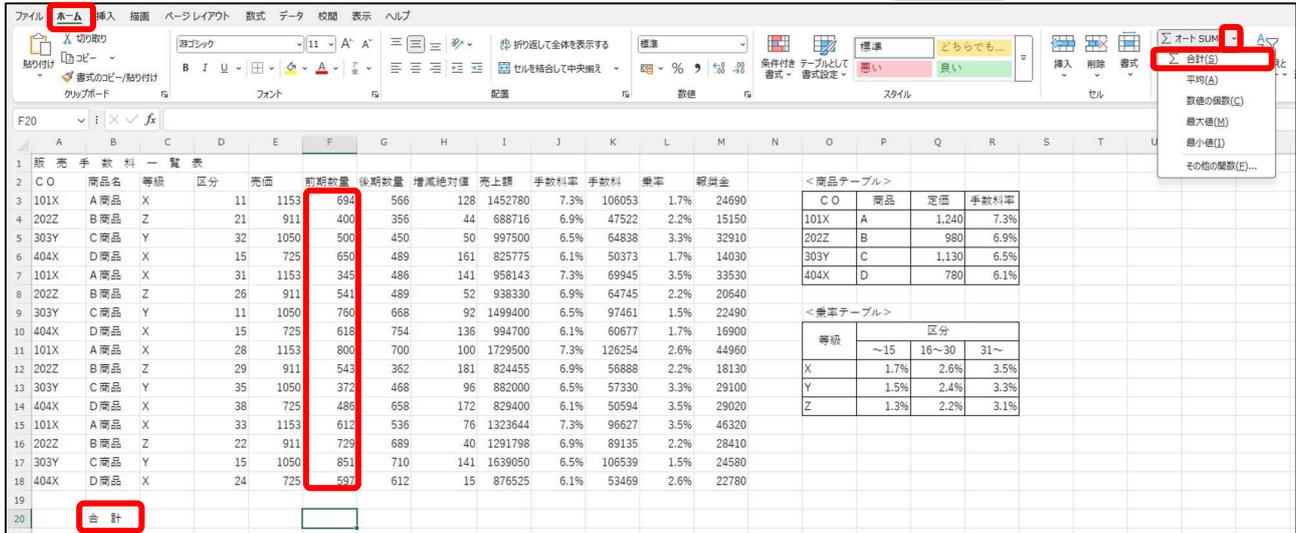


1	一覧表										
2	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金
3	X	11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
4	Z	21	911	400	356	44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150
5	Y	32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
6	X	15	725	650	489	161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030
7	X	31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
8	Z	26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
9	Y	11	1050	760	668	92	1499400	6.5%	97461	1.5%	22490
10	X	15	725	618	754	136	994700	6.1%	60677	1.7%	16900
11	X	28	1153	800	700	100	1729500	7.3%	126254	2.6%	44960
12	Z	29	911	543	362	181	824455	6.9%	56888	2.2%	18130
13	Y	35	1050	372	468	96	882000	6.5%	57330	3.3%	29100
14	X	38	725	486	658	172	829400	6.1%	50594	3.5%	29020
15	X	33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
16	Z	22	911	729	689	40	1291798	6.9%	89135	2.2%	28410
17	Y	15	1050	851	710	141	1639050	6.5%	106539	1.5%	24580
18	X	24	725	597	612	15	876525	6.1%	53469	2.6%	22780

「合計」項目の処理

8. 合計を求めなさい。

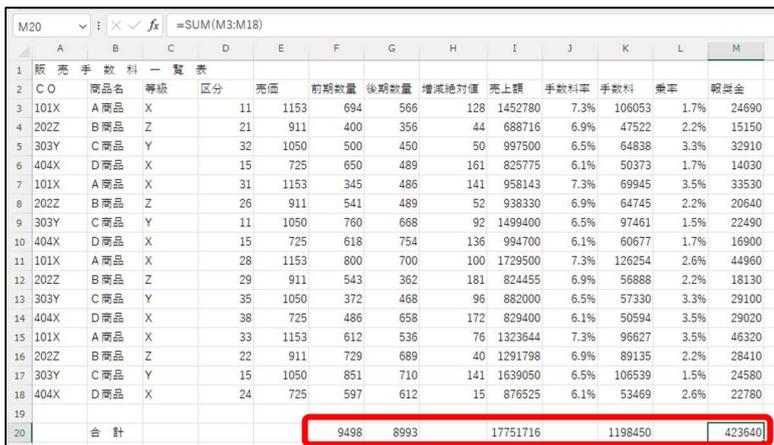
- (1) 見出しを入力し、[ホーム]タブ-[編集]グループの  横の  をクリックし、[合計]をクリックします。F3セルからF18セルまでドラッグして（自動的に「:」が入る）  キーを押します。



The screenshot shows the Excel interface with the 'Home' tab selected. The 'AutoSum' button (Σ) is highlighted, and its dropdown menu is open, showing the '合計(S)' (Sum) option selected. The formula bar shows the formula being entered: $=SUM(F3:F18)$. The spreadsheet data is as follows:

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金
101X	A商品	X	11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
202Z	B商品	Z	21	911	400	356	44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150
303Y	C商品	Y	32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
404X	D商品	X	15	725	650	489	161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030
101X	A商品	X	31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z	26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
303Y	C商品	Y	11	1050	760	668	92	1499400	6.5%	97461	1.5%	22490
404X	D商品	X	15	725	618	754	136	994700	6.1%	60677	1.7%	16900
101X	A商品	X	28	1153	800	700	100	1729500	7.3%	126254	2.6%	44960
202Z	B商品	Z	29	911	543	362	181	824455	6.9%	56888	2.2%	18130
303Y	C商品	Y	35	1050	372	468	96	882000	6.5%	57330	3.3%	29100
404X	D商品	X	38	725	486	658	172	829400	6.1%	50594	3.5%	29020
101X	A商品	X	33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
202Z	B商品	Z	22	911	729	689	40	1291798	6.9%	89135	2.2%	28410
303Y	C商品	Y	15	1050	851	710	141	1639050	6.5%	106539	1.5%	24580
404X	D商品	X	24	725	597	612	15	876525	6.1%	53469	2.6%	22780
合計					9498	8993		17751716		1198450		423640

- (2) 結果が表示されていることを確認し、M20セルまでコピーします。



The screenshot shows the result of the sum formula in cell M20. The formula bar shows $=SUM(M3:M18)$. The spreadsheet data is as follows:

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金
101X	A商品	X	11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
202Z	B商品	Z	21	911	400	356	44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150
303Y	C商品	Y	32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
404X	D商品	X	15	725	650	489	161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030
101X	A商品	X	31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z	26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
303Y	C商品	Y	11	1050	760	668	92	1499400	6.5%	97461	1.5%	22490
404X	D商品	X	15	725	618	754	136	994700	6.1%	60677	1.7%	16900
101X	A商品	X	28	1153	800	700	100	1729500	7.3%	126254	2.6%	44960
202Z	B商品	Z	29	911	543	362	181	824455	6.9%	56888	2.2%	18130
303Y	C商品	Y	35	1050	372	468	96	882000	6.5%	57330	3.3%	29100
404X	D商品	X	38	725	486	658	172	829400	6.1%	50594	3.5%	29020
101X	A商品	X	33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
202Z	B商品	Z	22	911	729	689	40	1291798	6.9%	89135	2.2%	28410
303Y	C商品	Y	15	1050	851	710	141	1639050	6.5%	106539	1.5%	24580
404X	D商品	X	24	725	597	612	15	876525	6.1%	53469	2.6%	22780
合計					9498	8993		17751716		1198450		423640

検定のポイント

※「合計」の文字間隔は、<出力形式>のとおりでなくても減点にはなりません。

※問題文の「一」の部分に値を設定すると減点となります。（文字列「一」（ハイフンなど）は入力する必要はありません。）

抽出の処理

9. <出力形式1>と同じ形式で、後期数量が600以下で手数料が60,000以上を抽出しなさい。
表題は「販売手数料一覧表（後期数量600以下・手数料60,000円以上）」とし、売上額の降順にソートしなさい。

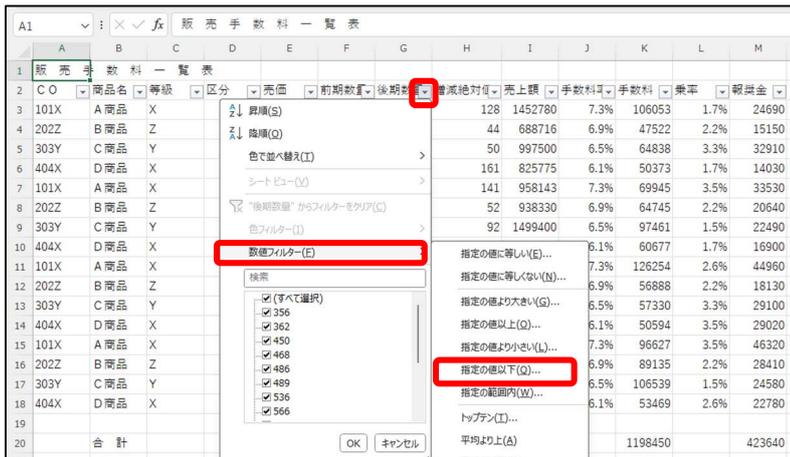
(1) [ホーム]タブ-[編集]グループの  [並べ替えとフィルター]から[フィルター]を選択します。



Excelのホームタブの編集グループで、並べ替えとフィルターを選択する様子。メニューには「並べ替えとフィルター」があり、その下に「フィルター」が選択されている。

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	販売金
101X	A商品	X	11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
202Z	B商品	Z	21	911	400	356	44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150
303Y	C商品	Y	32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
404X	D商品	X	15	725	650	489	161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030
101X	A商品	X	31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z	26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
303Y	C商品	Y	11	1050	760	668	92	1499400	6.5%	97461	1.5%	22490
404X	D商品	X	15	725	618	754	136	994700	6.1%	60677	1.7%	16900
101X	A商品	X	28	1153	800	700	100	1729500	7.3%	126254	2.6%	44960
202Z	B商品	Z	29	911	543	362	181	824455	6.9%	56888	2.2%	18130
303Y	C商品	Y	35	1050	372	468	96	882000	6.5%	57330	3.3%	29100
404X	D商品	X	38	725	486	658	172	829400	6.1%	50594	3.5%	29020
101X	A商品	X	33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
202Z	B商品	Z	22	911	729	689	40	1291798	6.9%	89135	2.2%	28410
303Y	C商品	Y	15	1050	851	710	141	1639050	6.5%	106539	1.5%	24580
404X	D商品	X	24	725	597	612	15	876525	6.1%	53469	2.6%	22780
	合計				9498	8993		17751716		1198450		423640

(2) 「後期数量」の  をクリックし、[数値フィルター]の[指定の値以下]を選択します。



Excelの「後期数量」列のフィルターメニューが開き、「数値フィルター」>「指定の値以下」が選択されている様子。

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	販売金		
101X	A商品	X						128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690	
202Z	B商品	Z						44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150	
303Y	C商品	Y						50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910	
404X	D商品	X						161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030	
101X	A商品	X						141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530	
202Z	B商品	Z						52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640	
303Y	C商品	Y						92	1499400	6.5%	97461	1.5%	22490	
404X	D商品	X								6.1%	60677	1.7%	16900	
101X	A商品	X								7.3%	126254	2.6%	44960	
202Z	B商品	Z								6.9%	56888	2.2%	18130	
303Y	C商品	Y								6.5%	57330	3.3%	29100	
404X	D商品	X								6.1%	50594	3.5%	29020	
101X	A商品	X								7.3%	96627	3.5%	46320	
202Z	B商品	Z								6.9%	89135	2.2%	28410	
303Y	C商品	Y								6.5%	106539	1.5%	24580	
404X	D商品	X								6.1%	53469	2.6%	22780	
	合計											1198450		423640

(3) [後期数量]に「600」と入力し、[以下]となっていることを確認して[OK]をクリックします。



カスタムオートフィルターダイアログボックスで、「後期数量」に「以下」と「600」が設定されている様子。

抽出条件の指定：
後期数量
以下 600
AND(A) OR(O)
OK キャンセル

(4) 「手数料」の▼をクリックし、[数値フィルター]の[指定の値以上]を選択します。

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金	
101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
202Z	B商品	Z		21	911	400	356	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
404X	D商品	X		15	725	650	489	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
202Z	B商品	Z		29	911	543	362	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
303Y	C商品	Y		35	1050	372	468	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
101X	A商品	X		33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
	合計						9498	8993	17751716		1198450		423640

(5) [手数料]に「60000」と入力し、[以上]となっていることを確認し、[OK]をクリックします。

カスタムオートフィルター

抽出条件の指定:

手数料

以上 60000

AND(A) OR(O)

OK キャンセル

(6) 結果が表示されていることを確認し、表示されている表全体をコピーして、A22セルに貼り付けます。

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金	
101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
101X	A商品	X		33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
	合計						9498	8993	17751716		1198450		423640

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金	
101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
101X	A商品	X		33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
	合計						9498	8993	17751716		1198450		423640

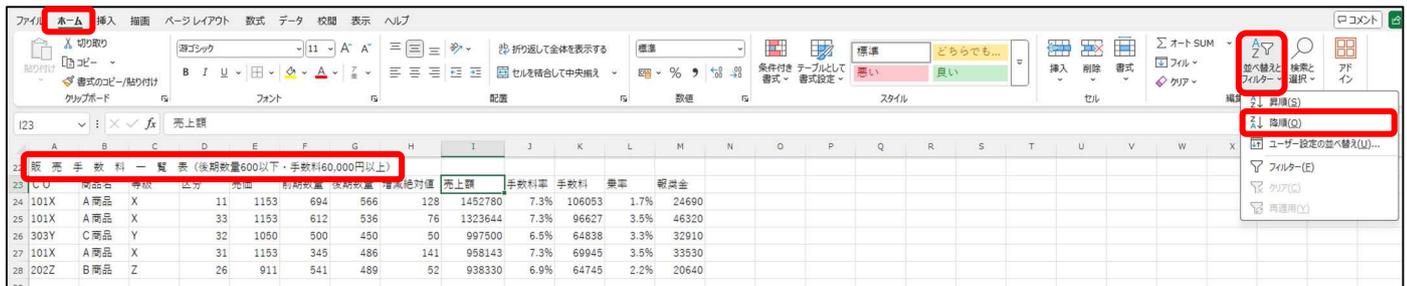
検定のポイント
貼り付け位置は問いません。

(7) [ホーム]タブ-[編集]グループの  [並べ替えとフィルター]から[フィルター]を選択し、フィルターを解除します。



CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	販売金
101X	A商品	X	11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
202Z	B商品	Z	21	911	400	356	44	688716	6.9%	47522	2.2%	15150
303Y	C商品	Y	32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
404X	D商品	X	15	725	650	489	161	825775	6.1%	50373	1.7%	14030
101X	A商品	X	31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z	26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
101X	A商品	X	33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
合計				9498	8993			17751716		1198450		423640

(8) 表題を指示どおりに入力し、1列の任意のセルをクリックします。(ここでは123セルを選択)
[ホーム]タブ-[編集]グループの  [並べ替えとフィルター]をクリックし、[降順]を選択します。



複数条件での並べ替え

例) 商COの昇順で値引額の降順にソートしなさい。

まず第1の条件で並べ替え、その中でさらに第2の条件を使って並べ替えをします。

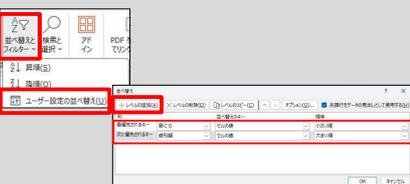
- ① [並べ替えとフィルター]をクリックし、[ユーザー設定の並べ替え]を選択。
- ② [並べ替え]の最優先されるキーに「商CO」を設定し、順序を「小さい順」(昇順)とし、[レベルの追加]をクリックし、次に優先されるキーに「値引額」を設定して順序を「大きい順」(降順)とする。

【並べ替え前】

得意先	商CO	売上数	値引額	売上額	
E11	JKマート	101	483	55,220	880,950
E12	共栄百貨店	103	529	58,740	899,730
F11	長谷川商店	103	590	54,000	789,700
F12	新鮮ストア	101	571	58,110	849,780
合計		2,153	224,070	3,020,180	

【並べ替え後】

得意先	商CO	売上数	値引額	売上額	
F12	共栄百貨店	103	529	58,740	899,730
E11	JKマート	101	483	55,220	880,950
F11	長谷川商店	103	590	54,000	789,730
E12	新鮮ストア	101	571	58,110	849,780
合計		2,153	224,070	3,020,180	



(9) 基表の合計値のままになっているため、合計の処理を行います。

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減絶対値	売上額	手数料率	手数料	乗率	報奨金	
101X	A商品	X		11	1153	694	566	128	1452780	7.3%	106053	1.7%	24690
101X	A商品	X		33	1153	612	536	76	1323644	7.3%	96627	3.5%	46320
303Y	C商品	Y		32	1050	500	450	50	997500	6.5%	64838	3.3%	32910
101X	A商品	X		31	1153	345	486	141	958143	7.3%	69945	3.5%	33530
202Z	B商品	Z		26	911	541	489	52	938330	6.9%	64745	2.2%	20640
	合計							2692	2527	5670397	402208	158090	

<出力形式2>「商品別集計表」の処理

10. 販売手数料一覧表を基に<出力形式2>のような処理を下さい。

<出力形式1>の販売手数料一覧表から、商品名ごとに売上額・手数料・報奨金のレコードを集計(合計)した商品別集計表(<出力形式2>)を作成します。

例) A商品の売上額を集計(合計)

販売手数料一覧表(抜粋)

CO	商品名	等級	増減絶対値	売上額	手数料	乗率	報奨金
101X	A商品	X	128	1,452,780	106,053	1.7%	24,690
202Z	B商品	Z	44	688,716	47,522	2.2%	15,150
303Y	C商品	Y	50	997,500	64,838	3.3%	32,910
404X	D商品	X	161	825,775	50,373	1.7%	14,030
101X	A商品	X	141	958,143	69,945	3.5%	33,530
202Z	B商品	Z	52	938,330	64,745	2.2%	20,640
303Y	C商品	Y	92	1,499,400	97,461	1.5%	22,490
404X	D商品	X	136	994,700	60,677	1.7%	16,900
101X	A商品	X	100	1,729,500	126,254	2.6%	44,960
202Z	B商品	Z	181	824,455	56,888	2.2%	18,130
303Y	C商品	Y	96	882,000	57,330	3.3%	29,100
404X	D商品	X	172	829,400	50,594	3.5%	29,020
101X	A商品	X	76	1,323,644	96,627	3.5%	46,320
202Z	B商品	Z	40	1,291,798	89,135	2.2%	28,410
303Y	C商品	Y	141	1,639,050	106,539	1.5%	24,580
404X	D商品	X	15	876,525	53,469	2.6%	22,780
	合計			17,751,716	1,198,450		423,640

条件

商品名
A商品

商品名	売上額	手数料	報奨金
A商品	5,464,067		
B商品			
C商品			
D商品			

販売手数料一覧表をデータベースとし、データベースの中で条件を満たすレコードの合計を求める場合、DSUM関数を使用します。

<DSUM関数>

=DSUM(データベース, フィールド, 条件)

※[データベース]と[条件]は見出し(項目名)を含めて設定します。

※[フィールド]は列の位置を示す番号や文字列を設定します。

この処理条件の場合は、

=DSUM(\$A\$2:\$M\$18, U\$2, \$T\$8:\$T\$9)

※「A2」セルから「M18」セルは見出しを含めた「販売手数料一覧表」(<出力形式1>)の範囲

※「U2」セルは「商品別集計表」の見出し「売上額」

※「T8」セルから「T9」セルは別で作成した条件

となります。

(1) T 1 セルに表題、T 2セルから横に問題文の〈出力形式2〉を参照し、見出しと商品名を入力します。

	T	U	V	W	X
1	商品別集計表				
2	商品名	売上額	手数料	報奨金	
3	A 商品				
4	B 商品				
5	C 商品				
6	D 商品				

操作のポイント

フィールドや検索条件となる見出しは、データベース範囲の見出しと完全に一致していないと正しく計算されません。見出しをコピーして貼り付けると、入力ミスが防げます。

(2) DSUM関数を設定する前に、条件設定セルをT 8セルから作成します。

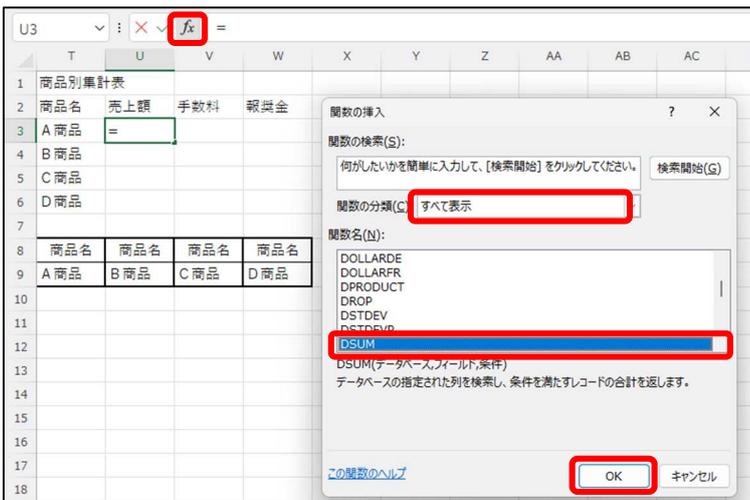
	T	U	V	W	X
1	商品別集計表				
2	商品名	売上額	手数料	報奨金	
3	A 商品				
4	B 商品				
5	C 商品				
6	D 商品				
7					
8	商品名	商品名	商品名	商品名	
9	A 商品	B 商品	C 商品	D 商品	

検定のポイント

※条件設定の作成位置は問いません。
 ※条件設定セルの形式(罫線・文字位置)は問いません。

	T	U	V	W	X
8	商品名	商品名	商品名	商品名	
9	A 商品	B 商品	C 商品	D 商品	

(3) 数式バーの  [関数の挿入] をクリックします。[DSUM]が選択されているのを確認し、[OK]をクリックします。



関数の挿入

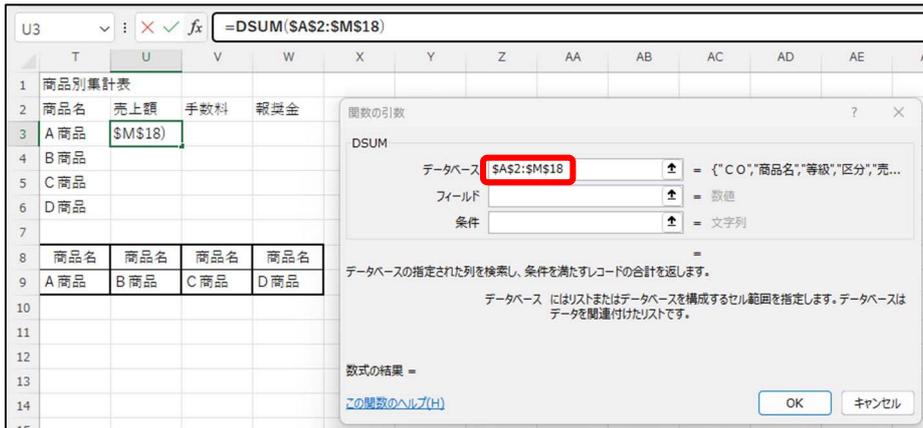
関数の検索(S):
 何がしたいかを簡単に入力して、[検索開始]をクリックしてください。 検索開始(G)

関数の分類(C): すべて表示

関数名(N):
 DOLLARDE
 DOLLARFR
 DPRODUCT
 DROP
 DSTDEV
 DSTDEV.P
DSUM
 DSUM(データベース、フィールド、条件)
 データベースの指定された列を検索し、条件を満たすレコードの合計を返します。

[この関数のヘルプ](#) OK キャンセル

(4) [データベース]に「販売手数料一覧表」のA2セルからM18セルまでをドラッグして[F4]キーを押し絶対参照にします。



(5) [フィールド]でU2セルをクリックして[F4]キーを2回押し、複合参照（行固定）にします。



操作のポイント

複合参照について

「フィールド」のセル指定を複合参照で行固定（U\$2）にすることにより、行列コピーした後の引数を修正する手間が省けます。

(6) [条件]でT8セルからT9セルをドラッグして[F4]キーを押し、[OK]をクリックします。



(7) 売上額の項目のすべての行に関数をコピーします。

	S	T	U	V	W	X	Y
1		商品別集計表					
2		商品名	売上額	手数料	報奨金		
3		A商品	5464067				
4		B商品					
5		C商品					
6		D商品					
7							
8		商品名	商品名	商品名	商品名		
9		A商品	B商品	C商品	D商品		



	T	U	V	W
1	商品別集計表			
2	商品名	売上額	手数料	報奨金
3	A商品	5464067		
4	B商品	5464067		
5	C商品	5464067		
6	D商品	5464067		

(8) U4セルを選択した状態で数式バーをクリックし、条件設定セルのT8セル・T9セルを囲んでいる線をドラッグして、U8セル・U9セルに移動し **Enter** キーを押します。他の売上額も同様に行います。

	S	T	U	V	W	X	Y
1		商品別集計表					
2		商品名	売上額	手数料	報奨金		
3		A商品	5464067				
4		B商品	=DSUM(\$A\$2:\$M\$18,U\$2,ST\$8:ST\$9)				
5		C商品	5464067				
6		D商品	5464067				
7							
8		商品名	商品名	商品名	商品名		
9		A商品	B商品	C商品	D商品		



	S	T	U	V	W	X	Y
1		商品別集計表					
2		商品名	売上額	手数料	報奨金		
3		A商品	5464067				
4		B商品	=DSUM(\$A\$2:\$M\$18,U\$2,\$U\$8:\$U\$9)				
5		C商品	5464067				
6		D商品	5464067				
7							
8		商品名	商品名	商品名	商品名		
9		A商品	B商品	C商品	D商品		



	S	T	U	V	W
1	商品別集計表				
2	商品名	売上額	手数料	報奨金	
3	A商品	5464067			
4	B商品	3743299			
5	C商品	5017950			
6	D商品	3526400			

(9) 「手数料」「報奨金」へコピーします。

	T	U	V	W
1	商品別集計表			
2	商品名	売上額	手数料	報奨金
3	A商品	5464067		
4	B商品	3743299		
5	C商品	5017950		
6	D商品	3526400		
7				
8	商品名	商品名	商品名	商品名
9	A商品	B商品	C商品	D商品



	T	U	V	W
1	商品別集計表			
2	商品名	売上額	手数料	報奨金
3	A商品	5464067	398879	149500
4	B商品	3743299	258290	82330
5	C商品	5017950	326168	109080
6	D商品	3526400	215113	82730
7				
8	商品名	商品名	商品名	商品名
9	A商品	B商品	C商品	D商品

検定のポイント

その他のデータベース関数

DSUM関数と同様にリストまたはデータベースの指定された列を検索し処理します。

DAVERAGE関数 ・ 条件を満たすレコードの平均値を返します。

DMAX関数 ・ 条件を満たすレコードの最大値を返します。

DMIN関数 ・ 条件を満たすレコードの最小値を返します。

DCOUNT関数 ・ . . . 条件を満たすレコードの中で数値のあるセルの個数を返します。

※設定方法もDSUM関数と同様に行います。

<出力形式3>の処理

11. 販売手数料一覧表を基に<出力形式3>のような処理を下さい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)

データベース関数 (DAVERAGE 関数・DCOUNT 関数・DSUM 関数) を使用して作成します。

条件が2つ以上ある条件設定セル

AND条件

後期数量が 500 より多く 700 より少ない売上額の平均

条件①：後期数量が 500 より多い

条件②：後期数量が 700 より少ない

条件①と条件②を横に並べると「①かつ②」と指定できます。

後期数量	後期数量
>500	<700

OR条件

等級が X または Z の手数料の合計

条件①：等級が X

条件②：等級が Z

条件①と条件②を縦に並べると「①または②」と指定できます。

等級
X
Z

条件が異なる項目の場合のOR条件

例)

前期数量が 500 以下または後期数量が 500 以下の件数

条件①：前期数量が 500 以下

条件②：後期数量が 500 以下

条件①の値と条件②の値の行をずらすと「①または②」と指定できます。

前期数量	後期数量
<=500	
	<=500

条件をZ6セルから作成します。

	Z	AA	AB
1			
2			
3			
4			
5			
6	後期数量	後期数量	
7	>500	<700	
8	手数料	報奨金	
9	>=60000	<25000	
10	等級		
11	X		
12	Z		

操作のポイント
 等号・不等号は必ず半角で
 入力してください。

後期数量が 500 より多く 700 より少ない売上額の平均

DAVERAGE関数のダイアログボックスを使用して設定を行います。



操作のポイント
 ※[フィールド]は位置を示す番号を入力しています。(例：「9」はデータベース範囲の9列目)
 ※データベース範囲を指定する際は、合計行を含めると値が変わってしまう場合があるので、
 合計行は含めないように注意しましょう。

手数料が 60,000 円以上で報奨金が 25,000 円未満の件数

DCOUNT関数のダイアログボックスを使用して設定を行います。

関数の引数

DCOUNT

データベース: \$A\$2:\$M\$18 = {"CO","商品名","等級","区分","売..."

フィールド: 11 = 11

条件: Z8:AA9 = Z8:AA9

= 5

データベースの指定された列を検索し、条件を満たすレコードの中で数値が入力されているセルの個数を返します。

データベースにはリストまたはデータベースを構成するセル範囲を指定します。データベースはデータを関連付けられたリストです。

数式の結果 = 5

[この関数のヘルプ\(H\)](#)



	Y	Z
1		
2	後期数量が500より多く700より少ない売上額の平均	1212258
3	手数料が60,000円以上で報奨金が25,000円未満の件数	5

等級が X または Z の手数料の合計

DSUM関数のダイアログボックスを使用して設定を行います。

関数の引数

DSUM

データベース: \$A\$2:\$M\$18 = {"CO","商品名","等級","区分","売..."

フィールド: 11 = 11

条件: Z10:Z12 = Z10:Z12

= 872282

データベースの指定された列を検索し、条件を満たすレコードの合計を返します。

データベースにはリストまたはデータベースを構成するセル範囲を指定します。データベースはデータを関連付けられたリストです。

数式の結果 = 872282

[この関数のヘルプ\(H\)](#)



	Y	Z	A
1			
2	後期数量が500より多く700より少ない売上額の平均	1212258	
3	手数料が60,000円以上で報奨金が25,000円未満の件数	5	
4	等級がXまたはZの手数料の合計	872282	

表示形式・配置の処理

ここまでの処理が完了したら、<問題>に指示されている「表題は表の中央」「見出しは中央揃え」「文字は左揃え」「数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつける」を行います。

(1) 表題を配置する範囲を選択し、[ホーム]タブ-[配置]グループの[セルを結合して中央揃え]をクリックします。

このスクリーンショットは、Excelの「ホーム」タブの「配置」グループにある「セルを結合して中央揃え」ボタンが赤い枠で強調されている様子を示しています。また、ワークシート上の表の表題部分も赤い枠で囲まれています。

販売手数料一覧表	商品別集計表
CO 商品名 等級 区分 売価 前期数量 後期数量 増減絶対値 売上額 手数料率 手数料 費率 総売上	商品名 売上額 手数料 総売上
101X A商品 X 11 1153 694 566 128 1452780 7.3% 106053 1.7% 24690	A商品 5464067 398879 149500
202Z B商品 Z 21 911 400 356 44 688716 6.9% 47522 2.2% 15150	B商品 3743299 258290 82330
303Y C商品 Y 32 1050 500 450 50 997500 6.5% 64838 3.3% 32910	C商品 5017950 326168 109080
404X D商品 X 15 725 650 489 161 825775 6.1% 50373 1.7% 14030	D商品 3526400 215113 82730
101X A商品 X 31 1153 345 486 141 958143 7.3% 69945 3.5% 33530	
202Z B商品 Z 26 911 541 489 52 938330 6.9% 64745 2.2% 20640	
303Y C商品 Y 11 1050 760 668 92 1499400 6.5% 97461 1.5% 22490	
404X D商品 X 15 725 618 754 136 994700 6.1% 60677 1.7% 16900	
101X A商品 X 28 1153 800 700 100 1729500 7.3% 126254 2.6% 44960	
202Z B商品 Z 29 911 543 362 181 824455 6.9% 56888 2.2% 18130	
303Y C商品 Y 35 1050 372 468 96 882000 6.5% 57330 3.3% 29100	
404X D商品 X 38 725 486 658 172 829400 6.1% 50594 3.5% 29020	
101X A商品 X 33 1153 612 536 76 1323644 7.3% 96627 3.5% 46320	
202Z B商品 Z 22 911 729 689 40 1291798 6.9% 89135 2.2% 28410	
303Y C商品 Y 15 1050 851 710 141 1639050 6.5% 106539 1.5% 24580	
404X D商品 X 24 725 597 612 15 876525 6.1% 53469 2.6% 22780	
合計 9498 8993 17751716 1198450 423640	

(2) 見出しを選択し、[ホーム]タブ-[配置]グループの[セルを結合して中央揃え]をクリックします。

このスクリーンショットは、Excelの「ホーム」タブの「配置」グループにある「セルを結合して中央揃え」ボタンが赤い枠で強調されている様子を示しています。また、ワークシート上の表の見出し行も赤い枠で囲まれています。

販売手数料一覧表	商品別集計表
CO 商品名 等級 区分 売価 前期数量 後期数量 増減絶対値 売上額 手数料率 手数料 費率 総売上	商品名 売上額 手数料 総売上
101X A商品 X 11 1153 694 566 128 1452780 7.3% 106053 1.7% 24690	A商品 5464067 398879 149500
202Z B商品 Z 21 911 400 356 44 688716 6.9% 47522 2.2% 15150	B商品 3743299 258290 82330
303Y C商品 Y 32 1050 500 450 50 997500 6.5% 64838 3.3% 32910	C商品 5017950 326168 109080
404X D商品 X 15 725 650 489 161 825775 6.1% 50373 1.7% 14030	D商品 3526400 215113 82730
101X A商品 X 31 1153 345 486 141 958143 7.3% 69945 3.5% 33530	
202Z B商品 Z 26 911 541 489 52 938330 6.9% 64745 2.2% 20640	
303Y C商品 Y 11 1050 760 668 92 1499400 6.5% 97461 1.5% 22490	
404X D商品 X 15 725 618 754 136 994700 6.1% 60677 1.7% 16900	
101X A商品 X 28 1153 800 700 100 1729500 7.3% 126254 2.6% 44960	
202Z B商品 Z 29 911 543 362 181 824455 6.9% 56888 2.2% 18130	
303Y C商品 Y 35 1050 372 468 96 882000 6.5% 57330 3.3% 29100	
404X D商品 X 38 725 486 658 172 829400 6.1% 50594 3.5% 29020	
101X A商品 X 33 1153 612 536 76 1323644 7.3% 96627 3.5% 46320	
202Z B商品 Z 22 911 729 689 40 1291798 6.9% 89135 2.2% 28410	
303Y C商品 Y 15 1050 851 710 141 1639050 6.5% 106539 1.5% 24580	
404X D商品 X 24 725 597 612 15 876525 6.1% 53469 2.6% 22780	
合計 9498 8993 17751716 1198450 423640	

検定のポイント
集計行の見出し(合計など)も忘れずに中央揃えにします。

(3) 3桁ごとにコンマをつける数値のセルを選択し、[ホーム]タブ-[数値]グループの「,」をクリックします。

The screenshot shows the Excel interface with the 'Home' tab selected. In the 'Number' group, the comma icon for thousands separators is highlighted with a red box. The spreadsheet displays two tables: '販売手数料一覧表' and '商品別集計表'. Red boxes highlight numerical cells in both tables. A callout box shows a zoomed-in view of a cell containing the value '1212258', with a red box around it. Another callout box shows a table with the values '5' and '872282'.



The screenshot shows the same Excel spreadsheet as above, but now the numerical cells are formatted with commas as thousands separators. A callout box shows a zoomed-in view of a cell containing the value '1,212,258', with a red box around it. Another callout box shows a table with the values '5' and '872,282'.

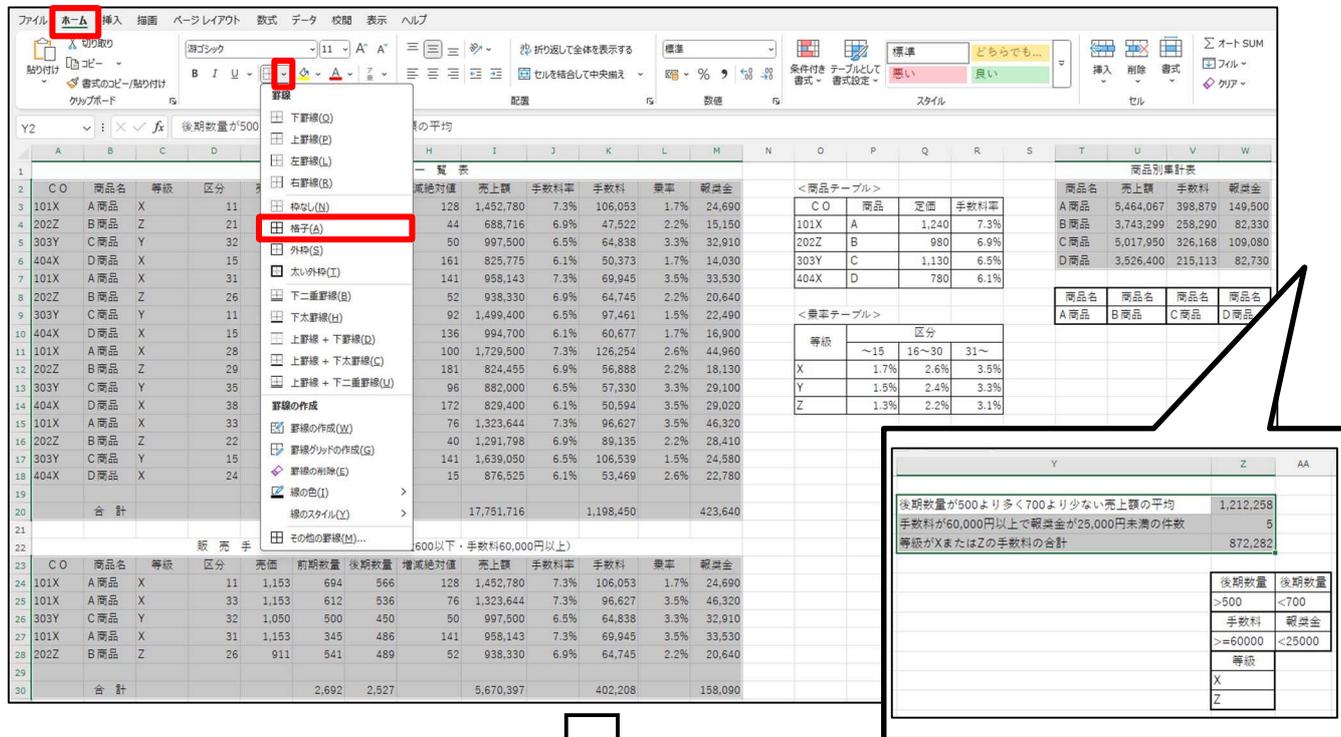
検定のポイント
「平均」が「整数未満四捨五入の表示」となります。

罫線の処理

12. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

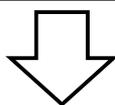
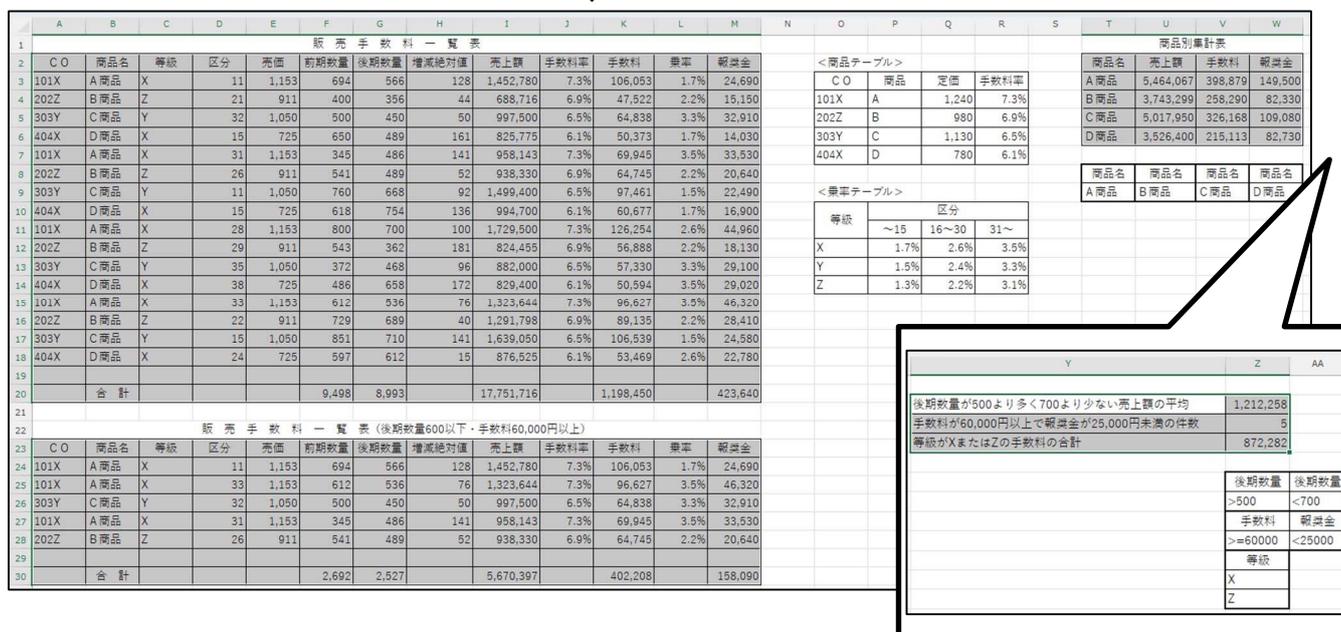
各表に罫線を設定します。

- (1) 罫線を設定する表を選択して[ホーム]タブ-[フォント]グループの  の横にある  をクリックし、**田 格子(A)** [格子]を選択します。



The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Home' tab selected. In the 'Font' group, the 'Grid Lines' icon is highlighted, and the dropdown menu is open. The 'Grid Lines (A)' option is selected. A callout box on the right shows a table with grid lines applied, including a thick border around the table area.

商品名	売上額	手数料	販売金
A商品	5,464,067	398,879	149,500
B商品	3,743,299	258,290	82,330
C商品	5,017,950	326,168	109,080
D商品	3,526,400	215,113	82,730

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Home' tab selected. In the 'Font' group, the 'Grid Lines' icon is highlighted, and the dropdown menu is open. The 'Grid Lines (A)' option is selected. A callout box on the right shows a table with grid lines applied, including a thick border around the table area.

商品名	売上額	手数料	販売金
A商品	5,464,067	398,879	149,500
B商品	3,743,299	258,290	82,330
C商品	5,017,950	326,168	109,080
D商品	3,526,400	215,113	82,730

操作のポイント

表が大きい場合、表の右下から左上にドラッグして選択すると選択漏れが起きにくくなります。

(2)再度の▼をクリックし、**太い外枠(I)** [太い外枠]を選択します。

The screenshot shows the 'Format Cells' dialog box in Excel. The 'Borders' tab is active, and the 'Thick border (I)' option is selected. The background shows a data table with columns for product name, category, and various metrics. A large arrow points from the dialog box to the data table.

列の幅自動調整

表の列幅を調整します。

罫線の処理で範囲選択したまま、[ホーム]タブ-[セル]グループの**書式** [書式]をクリックし、[列の幅の自動調整]を選択します。

The screenshot shows the 'Format' menu path in Excel: Home > Cells > Format > AutoFit Column Width. The background shows the same data table as the previous screenshot. A large arrow points from the menu path to the data table.

The screenshot shows the data table with the thick border applied to the selected range. The table contains columns for product name, category, and various metrics.

検定のポイント

画面では表示されていても、印刷プレビューや印刷する際に値が「####」と表示されている場合があります。列の幅の自動調整を使用するとそのようなミスを防げます。

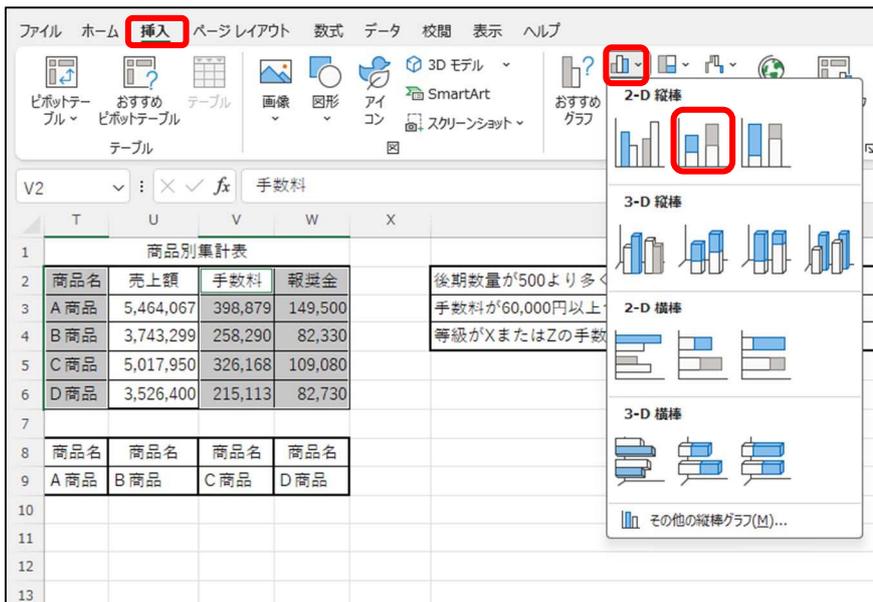
グラフの処理

13. <出力形式2>の手数料・報奨金を商品名別の積み上げ縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“手数料・報奨金の比較”とし、凡例は“手数料”、“報奨金”とする。

- (1)「商品別集計表」(<出力形式2>)の「商品名」列のT2セルからT6セルまでをドラッグし、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら「手数料」と「報奨金」列のV2セルからW6セルまでを選択します。

	T	U	V	W
1	商品別集計表			
2	商品名	売上額	手数料	報奨金
3	A商品	5,464,067	398,879	149,500
4	B商品	3,743,299	258,290	82,330
5	C商品	5,017,950	326,168	109,080
6	D商品	3,526,400	215,113	82,730
7				
8	商品名	商品名	商品名	商品名
9	A商品	B商品	C商品	D商品

- (2)[挿入]タブ-[グラフ]グループのをクリックし、2-D縦棒の[積み上げ縦棒]を選択します。

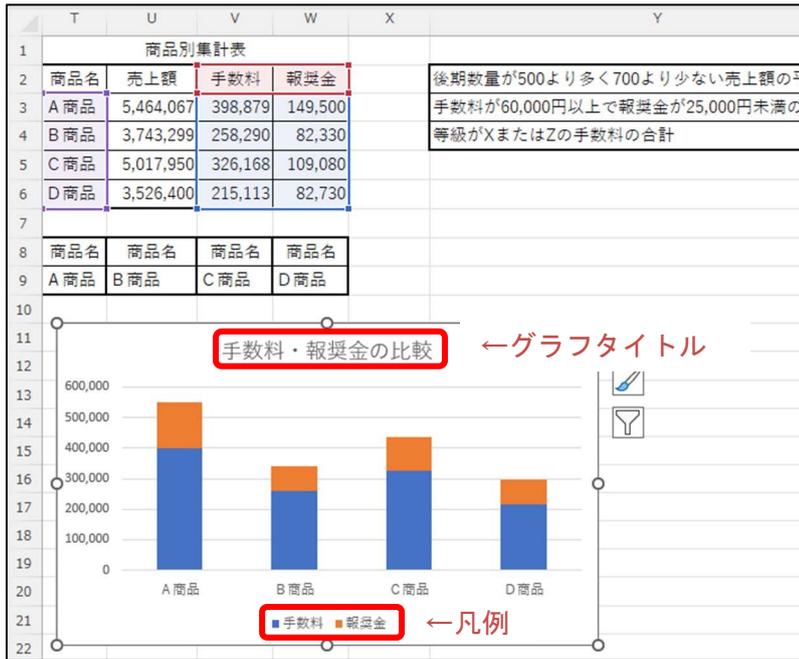


The screenshot shows the Excel interface with the 'Insert' tab selected. The 'Insert Chart' task pane is open, and the '2-D Stacked Bar' chart type is selected. The background shows the '商品別集計表' table with columns for '商品名', '売上額', '手数料', and '報奨金'.

検定のポイント

挿入したグラフは表と重ならないよう配置します。

(3)幅を広げて調整します。「グラフタイトル」をクリックし、「手数料・報奨金の比較」と修正し、凡例が指示どおり表示されていることを確認します。



これで、本問題は完了となります。

試験後にすること

解答の印刷

解答の印刷は試験時間後に行います。試験監督の指示に従ってください。

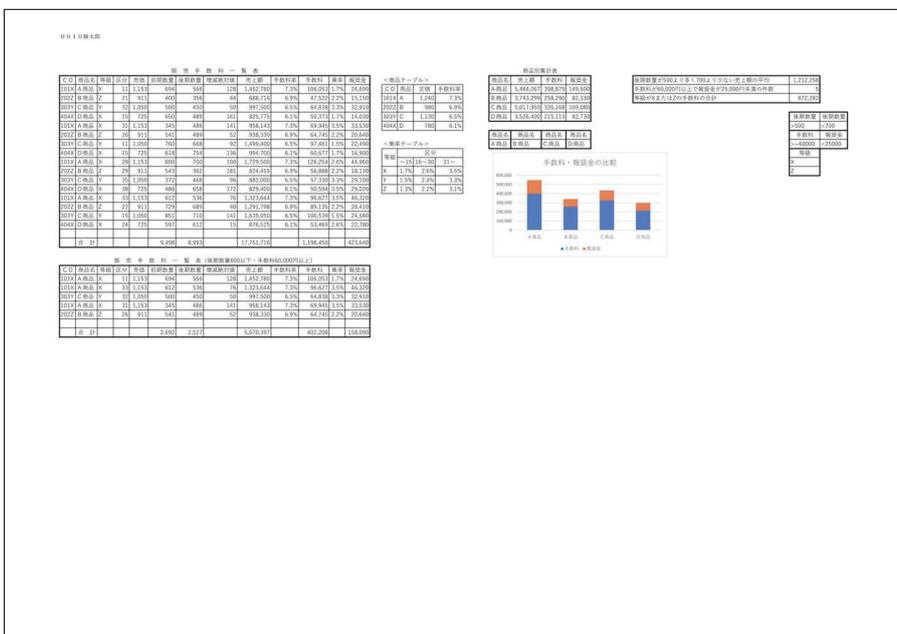
検定のポイント

※印刷が2ページにわたっていても構いませんが、一つの表が2ページにわたっている場合は減点となりますので気を付けてください。

※縮小印刷する場合は、文字・数値が小さくなりすぎないように気を付けてください。

※グラフを選択したまま印刷するとグラフのみが印刷されるので選択は解除してください。

解答の印刷例



結果データの保存または数式印刷

保存媒体への結果データの保存または数式印刷を行います。試験監督の指示に従ってください。

【数式印刷の場合】

(1) [数式]タブ-[ワークシート分析]グループの[数式の表示]を選択すると、すべて数式表示になります。

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Formulas' tab selected. The 'Show Formulas' button in the 'Formula Auditing' group is highlighted with a red box. Below the ribbon, a spreadsheet grid is visible with columns for 'CO', '商品名', '等級', '区分', '売価', '前期数量', '後期数量', '増減対価', '売上額', '手数料率', '手数料', '税率', and '前売上'. An arrow points from the 'Show Formulas' button to the grid.

(2) 列の幅を調整するセルを選択して[ホーム]タブ-[セル]グループの[書式]から[列の幅の自動調整]を選択し、すべての数式が確認できるようにします。

The screenshot shows the Excel ribbon with the 'Home' tab selected. The 'AutoFit Column Width' button in the 'Cells' group is highlighted with a red box. Below the ribbon, the same spreadsheet grid is visible. An arrow points from the 'AutoFit Column Width' button to the grid.

CO	商品名	等級	区分	売価	前期数量	後期数量	増減対価	売上額	手数料率	手数料	税率	前売上
101X	A 商品	X	11	1,153	694	566	128	1,452,780	7.3%	106,053	1.7%	24,600
202Z	B 商品	Z	21	911	400	356	44	688,716	6.9%	47,522	2.2%	15,180
303Y	C 商品	Y	32	1,050	500	450	50	997,500	6.5%	64,838	3.3%	32,910
404X	D 商品	X	15	725	650	489	161	825,775	6.1%	50,373	1.7%	14,030
101X	A 商品	X	31	1,153	345	486	141	958,143	7.3%	69,945	3.5%	90
202Z	B 商品	Z	26	911	541	489	52	938,330	6.9%	64,745	2.2%	50
合計												

(3) 試験監督の指示に従って、印刷をします。

その他の問題

練習問題にない処理条件について解説します。

「評価」項目の処理

評価は<評価表>を参照し、求めなさい。

<評価表>

出張手当	販売手当	評価
50,000 未満	かつ 80,000 以上	A
50,000 未満	かつ 60,000 以上 80,000 未満	B
それ以外		C

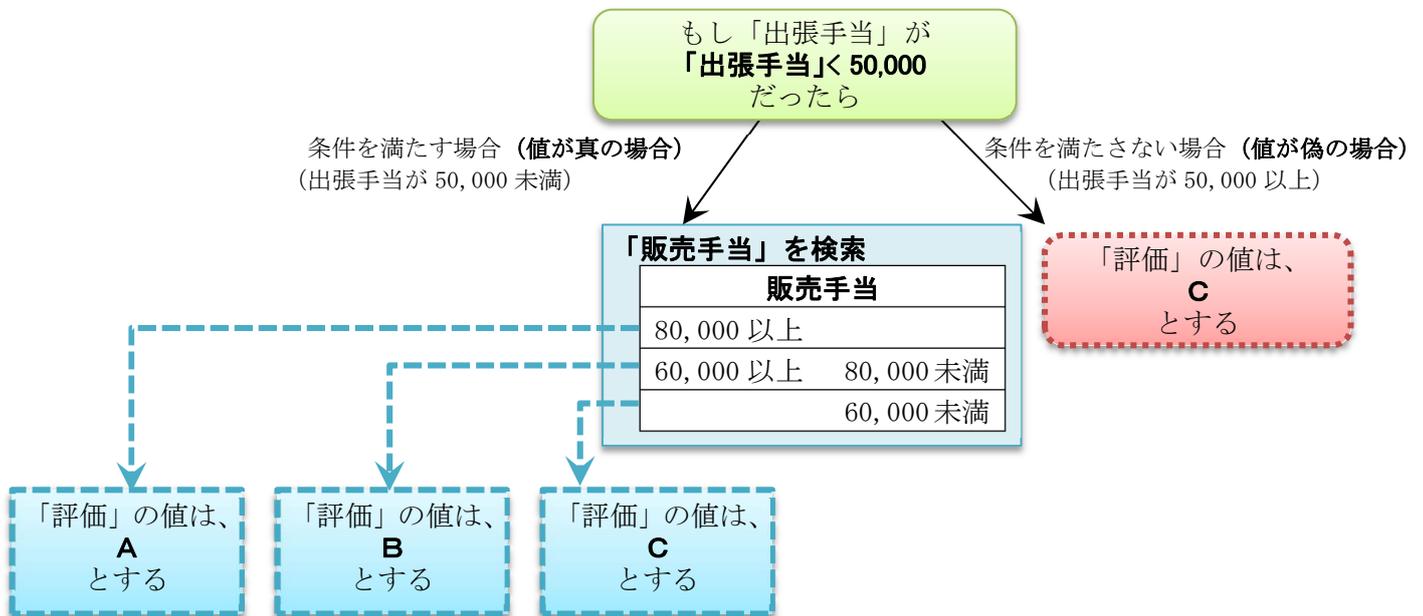
<評価表>

出張手当	販売手当	評価
50,000 未満	かつ 80,000 以上	A
50,000 未満	かつ 60,000 以上 80,000 未満	B
それ以外		C

↑
条件

↑
結果

以下のように上から順に考えます。



この条件は、「出張手当」と「販売手当」の複数条件なので、「IF関数」と「VLOOKUP関数」を使用します。

=IF(「出張手当」<50000, VLOOKUP 関数, "C")

※[値が偽の場合]のCは出張手当が 50,000 未満ではない場合

販売手当の条件のみで判断すると以下の表のようになります。

販売手当	評価
80,000 以上	A
60,000 以上 80,000 未満	B
60,000 未満	C

これをVLOOKUP関数で表します。

=IF(G16<50000, VLOOKUP(H16, \$O\$24:\$P\$26, 2, 1), "C")

※「G16」セルは「出張手当」、「H16」セルは「販売手当」

※「O24」セルから「P26」セルは別で作成した項目名を含めない<評価表>

(1) 販売手当を検索するためのテーブルをO22セルから作成します。

	N	O	P
21			
22		<評価表>	
23		販売手当	評価
24		1	C
25		60,000	B
26		80,000	A
27			

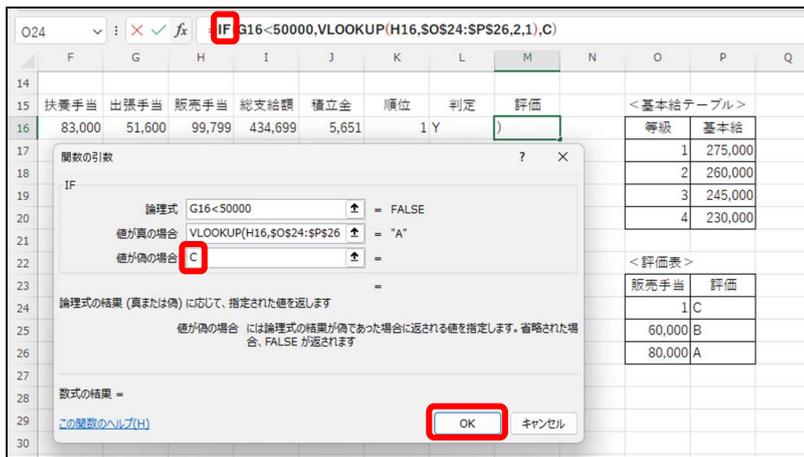
1 以上 60,000 未満はC
 60,000以上 80,000 未満はB
 80,000以上はA
 となるようにテーブルを作成します。

(2) [関数の挿入]ダイアログボックスで、[IF]をクリックし[論理式]に「G16<50000」と入力します。

(3) [値が真の場合]にカーソルがある状態で[名前ボックス]から[VLOOKUP]を選択します。

(4) 検索値を「販売手当」にし、<評価表>を参照して設定を行います。

(5) IF関数のダイアログボックスに戻り、[値が偽の場合]に判定「C」と入力して[OK]をクリックします。



検定のポイント
 アルファベットは全半角問いません。

操作のポイント

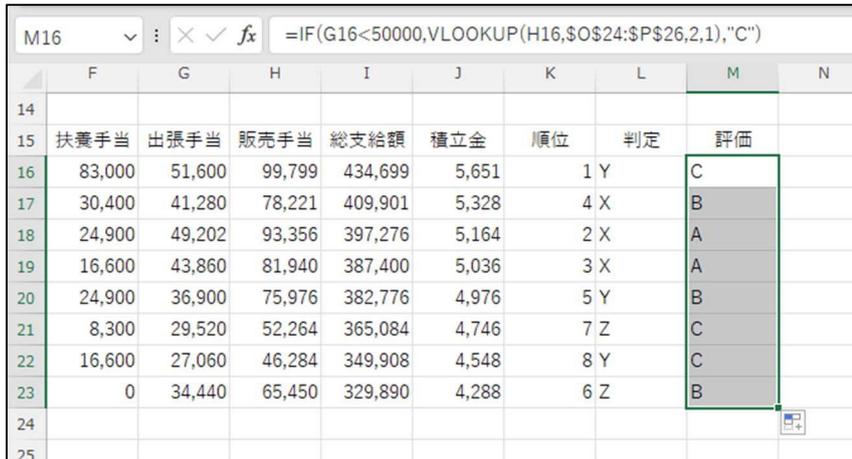
検索方法について
 VLOOKUP関数の検索方法には完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを設定できます。
 「販売手当」の場合、後者の検索方法で評価を取り出します。
 その近似値を含めて検索すると、検索値と同じ値が見つからない場合、検索値未満で最も大きい値を取り出します。
 例) 総支給額一覧表の販売手当（検索値）が「70,000」の場合

<評価表> 1列目の販売手当の中で「70,000」未満で最も大きい値は「60,000」

販売手当	評価
1	C
60,000	B
80,000	A

※近似値での検索の場合、必ず検索する範囲の1列目を昇順でテーブルを作成します。

(6) 結果が表示されていることを確認し、M23セルまでコピーします。



Microsoft, Access, Excel, PowerPoint, Windows, Wordは、マイクロソフトグループの企業の商標です。その他、本書に登場する製品名は、一般に各開発メーカーの商標および登録商標です。本文中には、™、®マークは明記しておりません。